

学生新聞

放送大学
 埼玉学習センター
 埼玉CSC交流会
 学生新聞
 編集委員会
 〒330-0853
 さいたま市大宮区
 錦町682-2
 TEL048-650-2611

第12回埼玉フェスタは9月に開催
「新たなるチャレンジ」をテーマに
魅力一杯の新企画が続々と
9月15・16日は埼玉学習センターで集おう

今年のフェスタは9月15日(土)と16日(日)の2日間に「新たなるチャレンジ」のテーマを掲げて開催されます。昨年のフェスタは1か月の前倒しとなったため、時間的な制約が多く、イベント担当の各サークルは例年になく苦労をいたしました。しかし、今年は昨年以上に、担当者が競って魅力一杯の催しを企画し、日頃の成果を発表しようという意気込みが、また、会員以外の方々の方も楽しんで参加できる学園祭にしようと、関係者は時間を惜しんで準備を重ねてきました。

9月15日(土) 9階の第1講義室では、10時半から熟年会の「勉強会」、13時からは埼玉英語倶楽部による「日本文化を英語で表現しよう」が催されます。第6講義室では、10時と17時までの「音楽サロン」と銘打った催しが計画されています。これは今年からの新しい企画で、個人演奏やレコード演奏、歌声広場

のほか、お茶やお菓子をのほかに楽しむ事ができます。また8階の講義室では、10時から個人演奏とパフォーマンス、12時からアンサンブルと合唱、13時半からジャズ演奏、そして、14時半からはジャズとダンスなど盛り沢山のプログラムを楽しむ事ができます。

9月16日(日) 9階の第1講義室で12時から、サークルおみやげによるフェスタ恒例のDVD鑑賞会があります。今年映画「否定と肯定」が映写されます。また、第6講義室では、この日も10時から音楽サロンが予定されています。8階講義室では10時から朗読の会「こころ」による朗読劇、健康体操やソシアルダンスのほか、今年初めての試みとして、アメリカ

の誕生から現在までのミュージカルにしたダンスショー「アメリカ」が催されます。

その他、実習室では12時半から熟年会が催す「パソコン楽習会」があり、多目的室では懇親会を前に「歌声広場」を楽しめます。そして、埼玉フェスタ恒例となったジャズ演奏会が、今年15日の土曜日に8階講義室で催され、ジャズ演奏と全員でのダンスも楽しめるように計画されました。

2日間共通のイベントとして、各団体活動の展示(第2講義室)、バザー(第3講義室)、個人作品展示(第4・5講義室)が予定されています。9階ロビーにはお馴染みの茶席が設けられ、俳句・川柳大会の投句募集も始まっています。(冬木)

9月15日(土)	第1講義室	
	10:30~12:30	熟年会 公開勉強会
	13:00~16:00	「日本文化を英語で表現しよう」 埼玉英語倶楽部
	第6講義室	
	10:00~17:00	音楽サロン=個人演奏・レコード演奏・ 歌声広場・お茶と茶菓子 Wiener Wald MusikFreunde
8階講堂		
10:30~12:00	個人演奏&パフォーマンス	
12:00~13:30	アンサンブルと合唱	
13:30~14:30	ジャズ演奏	
14:30~15:30	ジャズ&ダンス	
9月16日(日)	第1講義室	
	12:00~14:30	サークルおみやげ DVD映写会 映画「否定と肯定(Denial)」
	第6講義室	
	10:00~15:30	音楽サロン
	8階講堂	
	10:00~12:00	朗読の会「こころ」 朗読劇 ①「愛の手紙」(ジャック・フィニー) ②「八十八歳の私より」(代筆屋・辻仁成)
	12:00~13:30	健康体操研究会 健康体操
	13:30~14:40	ソシアルダンス
	14:50~15:50	舞踏研究会
	16:10~17:30	懇親会パーティ
多目的室		
15:50~16:10	歌声広場	
実習室		
12:30~14:30	熟年会 パソコン楽習会	



「戦争と平和を語る」
一戦後70年を経て結ばれた日米の絆
 埼玉学習センター・鈴木智義

第二次世界大戦中に、戦闘機「隼」の隊員として、南太平洋で複数の米軍爆撃機を撃墜したことがある関利雄さん(95歳)は埼玉学習センターに在籍している。元米軍パイロットで、この戦争の史実を研究しているWilliam Swainさん(米国オクラホマ州在住)と関さんら4人の対談が7月6日に学習センターで行われた。

二人の間を結んだ人はさいたま市在住の今吉孝夫さん(86歳)で、30年に亘り水処理関係の仕事で米国に駐在していた方である。今吉さんは鹿児島県加治木町の生まれで、旧制中学1年生の時に米軍の激しい空襲を受け、かろうじて生き延びた体験を持っている。鹿児島島の北奥に位置する始良郡加治木町は、終戦4日前の8月11日午前米軍の激しい空襲を受け、町の大半が焼失し多数の死傷者を出した。今吉さんは、空襲警報の出ている中を自転車で登校した直後であった。激しい爆撃と焼夷弾により学校は見ると間に火に包まれ、今吉さんは仲間と共に近くの防空壕にやっと逃げ込んだ。攻撃が終わった後、機銃掃射を避けるため国道を通らず、田畑や山の中を逃げ回って、ようやく12Km離れた自宅に帰り着いた。

今吉さんは米国滞在中に、その加治木町空襲の詳細を米国のWeb公表資料から調査した。その過程で、Williamさんの父親が米軍戦闘機のパイロットとして加治木の空襲に加わっていた事が判り、William Swainさんとの交流が始まった。ある時Williamさんから日本軍兵士の写真が20枚ほど送られてきた。ニューギニアのジャングルの中で発見され、Williamさんのお父さんが長年保存していたが、日本の親族に返還してほしいとのことであった。今吉さんはこの写真を各方面に照会して縁者を捜した。その結果、写真の中の一人が、戦前の有名な流行歌手の上原敏さん(本名・松本)であることが判った。当日は、長男の松本明生さん(78歳、宇都宮市在住)が出席し、父親の思い出話をした。

関さんは、1945年2月にシンガポールで米軍の重爆撃機B29を撃墜した。また6月にインドネシア・セレベス島(現スラウェジ島)で、爆撃機B24を撃墜した。これらに関する米国の詳細な記録が公開され、インターネットを通じて閲覧できるようになった。Williamさんはこの2機に関する詳細な情報を調査するとともに、B24機の搭乗員の遺族の方を探し出した。その詳細な情報は、今吉さんを通して、関さんに伝えられた。関さんは戦後70年以上も経ってから、自分の所属部隊の最後の状況や、B29の機体の一部が海中から引き上げられていること、また搭乗員の遺族の事を知った。

関さんは「戦闘機の戦いは互いに撃墜するか・されるかの、命がけの戦いであり敵機の事しか考えられない。しかし敵機にも搭乗員がいて家族もいることに思いが至って心が痛んだ」と述べている。

最後に4名の方に対して「戦争について、どのように考えておられるか」という問いかけが、司会をしていただいた渋谷治美所長からあった。Williamさんは「戦争は国家間のものであるが、そこには戦う個人がおり、個人としては深刻な悩みや苦しみがある。だから戦争をする前に、お互いに十分なコミュニケーションを取ることで相互理解を図ることがとても重要である」と述べた。

関さんからは「戦いには次第に慣れるものであると聞いていたが、私は戦闘は最後まで怖かった。戦争は2度とするべきではない」との貴重な言葉があった。今回、Williamさんのお父さんが所属していた部隊のバッジを指輪に加工した遺品が、Williamさんから関さんに贈られた。戦後70年を経て日米の絆が結ばれた感動的な出来事であった。

第12回埼玉フェスタ
俳句・川柳投句募集

***募集期間**
 7月1日(土)~9月2日(日)

***応募資格**
 放送大学の学生、
 卒業生、教職員

***優秀句の決定**
 フェスタ会場での投票

***優秀句には賞品を授与**

***投句方法**
 募集要領による
是非、あなたの一句を!

事務室からのお知らせ
 卒業証書・学位記授与式

平成30年度1学期の卒業証書・学位記授与式を行います。また、当生涯学習奨励賞の授与も行います。

平成30年度2学期入学者の集いは、10月7日(日)午後2時から埼玉学習センター講義室で開催します。

面接授業の空席発表
 平成30年度第2学期の面接授業の空席発表は10月17日(水)12時で、学習センターでの掲示及び放送大学ホームページでお知らせします。また、10月24日(水)15時以降は、システムWAKA B Aで確認ができます。

なお、追加登録期間は、10月24日(水)から科目ごとに定められた追加登録受付期限日(通常は開講日の1週間前)までとなります。

埼玉学習センターのオープンキャンパス

埼玉学習センターのオープンキャンパスを次の日に行います。

日時 9月1日(土) 14時~

内容 大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、施設見学、個別相談などを行います。

一度それらをじっくり見てみたいという思いが広がり、図書館で美術全集や図録などを調べたり、放送授業を見ながら、テキストに要点を書き込んで学習しました。おかげで自分自身の目でしっかりと実物に近い作品を確認することができました。まさに、「目で見て、音で聞いて、心で感じる」ことができたと思います。

この講義の試験は記述式でしたので、各章を用紙2枚程度にその要点項目を200字ないし300字程度にまとめておいて単位取得試験に臨むことができました。

「放送大学に学ぶ」
 ② 佐原誠一

前号の『最も単位取得に苦労したコース』に引き続き、『最も興味深かったコース、科目』について紹介します。

私は在職中から、旅行や美術館巡りが大好きでした。旅行は多い時は年に10回以上、国内外を問わず、専攻したコースの日程と調整して、あちこち出かけていました。また都内の美術館を中心に来日した絵画展はもとより、主な美術展はできるだけ多く見て回りました。

放送大学に入学して5年目に人間と文化コース(現・人間と文化コース)の『中世日本の物語と絵画』の放送科目に出会い、テキストを開いたとたん、カラー刷りの源氏物語絵巻、伴大納言絵巻、信貴山縁起、鳥獣戯画の画面が目に見え、その鮮やかさに感動を覚えるとともに、どこかで実物を見た事を思い出しました。

早速テキストを手にし、一気に最後まで読み上げ、その中で今まで見た絵画や物語が数多く存在することを知り、もう一度それらをじっくり見てみたいという思いが広がり、図書館で美術全集や図録などを調べたり、放送授業を見ながら、テキストに要点を書き込んで学習しました。おかげで自分自身の目でしっかりと実物に近い作品を確認することができました。

「健康体操を辞める時は大学を辞める時」 健康体操研究会 宮島かほる

健康体操研究会は、10余年の歴史がある。私が入会した2007年は、私が放送大学へ入学した年でもあり、その1年後に健康体操研究会という新しい名称になった。

体育大学で創作ダンスを学ばれた難波明美先生のご指導のもと、アシスタントの久保浩子さん、毎年交代の5人の役員が会の運営をフォローし、現在まで大過なく楽しく体操を続けてきている。

研究会で1年間体を動かすと保健体育の1単位が取得できることから、単位取得のために入会する方もいる。また、先生が面接授業の講師をされていることから、その流れで続けて入会する方もいたりして、現在40名強の会員が登録している。

会の特徴は、体を動かすことが大好きな難波先生のエネルギッシュなオーラと前向きな明るい考え、軽妙な話術が一番の魅力である。そして実によく新しいことも勉強され、体のメカニズムに合ったきめ細かな指導内容となっており、1時間半があつという間に過ぎていく。ダンスや盆踊りなどリズムカルな、体が自然に動いてしまうような内容もたっぷり取り入れて、誰にでも楽しめる。

この楽しさに根強いファンがいて、常に20名は参加している実態がある。20名のうち男性会員は7名。長く続けている会員は「健康体操を

やめる時が大学をやめる時」と豪語するほど、生活と結びついている。体操は続けることがベターだが、この会は個人的事情で一定期間休んでも、気まずいことなくいつでも戻れる温かさがある。とにかく皆が温かい。

体操をすることは、日頃のストレスから心身を開放し、無になって体を動かすことで、余分な体の力が抜け、終わった後のスッキリ感は、体験してみても初めて分かる爽快感につながる。

また、妹分のベリーダンスも健康体操と同じ火曜日の午後からやっていて、こちらも充実している。

活動は、毎週火曜日朝10時半から、8階講堂で行っている。

是非一度、体験見学に来て、ご自身の体調と向き合ってみませんか？

★今年も健康体操がやります！
フェスタの「大盆踊り大会&ベリーダンスショー」=8階講堂にて開催
9月16日(日)12時~13時半
是非ご参加下さい。

★今年も健康体操がやります！
フェスタの「大盆踊り大会&ベリーダンスショー」=8階講堂にて開催
9月16日(日)12時~13時半
是非ご参加下さい。



さて、スポーツ吹矢は胸式・腹式の両呼吸法をこの基本動作の中に採り入

れ、健康の維持と脳の老化防止、そして心を落ち着かせ、ストレスを解消させることが顕著である。矢が的の真芯を射ることにより、快感のホルモン分泌が促進され、ストレスや不眠症にも非常に効果的である。真冬の少人数の練習時に、しいんと静まり返った冷気を突き破り、真芯たる正鵠を射た時の心の喜びは、思わず快哉の叫びをあげたくなる程に快感ホルモンの分泌を自覚し、そこに射手の秘かな楽しみを感じさせるものなのだ。この様な体感には、体験したことのない者に、言葉にして説明は無理だ。

スポーツ吹矢の腹式呼吸はヨガや気功で行われている呼吸で、呼吸のポイントはお腹にある。基本動作は弓道の作法を見習っている。ゆったりとしたスポーツ吹矢呼吸法

「等閑(なござり)」の心を回避する故、諸矢(もろや)を持つ事を禁ずると昔人が鎌倉武士の教訓を引き合いに綴った話は、余りにも有名である。「唯一の一念」の難しさを説いているが、確かに、我がスポーツ吹矢同好会の練習においてもこの言葉は、核心を突いた正鵠なる言葉であると得心できる。

「スポーツ吹矢・正鵠会と私」
代表世話人 永井洋三

と、札に始まって札に終わる中に基本の8動作がある。この一連の基本動作を正しく修得することにより、集中力が高まり、正しいスポーツ吹矢呼吸法ができ、心と体に効果をもたらされるというものだ。若い時代には、スポーツに親しむには「動的」な激しい動きに価値観を置くことがよく自然であったのに、今や老境に近づいては「静的」なスポーツに価値観を見つけたくなるものだ。

ここに最適な代表的スポーツとして、スポーツ吹矢が登場してくる。本来は、基本動作の中に「様式美」を表現するスポーツである。基本動作に付随する各動作にも細かな規定があり、従って、公認の有段者、特に高段者になるにつれ、この「様式美」を競い合う面が前面に出てくるのだ。他方、なんと言ってもスポーツ吹矢の魅力はスポーツ性の中にある、得点力

を競い合うところに最大価値を置く力は厳然と存在している。連続して射た5矢(1ゲーム)全体の中心域に集中させ得た時の快感こそ、スポーツ吹矢の魅力である。と確信している愛好家のなんと多いことだろうか！

この様に、スポーツ性・ゲーム性に重きを置かず、様式美にこのスポーツの真髄を見出すのは、会員となる各人の意識に任せるとし、我が正鵠会の現在の在り方は、あくまでもスポーツ吹矢を愛するゲーム性を重視した楽しみ、その快感にホルモン分泌が促進され、抱えていたストレスなど吹き飛ばしてしまうこと請け合

い！その快感の余韻を体内に留め置いて、呼吸法の実践の積み重ねにより、健康増進に努めよう。その健康増進を得た体力と共に、練習終了後の懇話会にも参加しようではないか。何気ない懇話会にも、価値ある時間の流れがあるものなのだ。存命の喜び日々を楽しませらんや。(会員数15名)

「様式美」を重視する基本動作指導を気軽に受けることも可能であり、そこに我が「正鵠会」の最大特徴がある。さあ君も、我がスポーツ吹矢の仲間にならないか！

「様式美」を身に体得しつつ、一方、スポーツ吹矢のゲーム性も大いに楽しみ、真芯を矢が射た時の快感を実体験してみれば、その快感にホルモン分泌が促進され、抱えていたストレスなど吹き飛ばしてしまうこと請け合

本動作・厳格なる基本動作と所作及び呼吸法を実践したいと願う会員には、「様式美」を重視する基本動作指導を気軽に受けることも可能であり、そこに我が「正鵠会」の最大特徴がある。さあ君も、我がスポーツ吹矢の仲間にならないか！

「様式美」を身に体得しつつ、一方、スポーツ吹矢のゲーム性も大いに楽しみ、真芯を矢が射た時の快感を実体験してみれば、その快感にホルモン分泌が促進され、抱えていたストレスなど吹き飛ばしてしまうこと請け合

「様式美」を重視する基本動作指導を気軽に受けることも可能であり、そこに我が「正鵠会」の最大特徴がある。さあ君も、我がスポーツ吹矢の仲間にならないか！

「様式美」を身に体得しつつ、一方、スポーツ吹矢のゲーム性も大いに楽しみ、真芯を矢が射た時の快感を実体験してみれば、その快感にホルモン分泌が促進され、抱えていたストレスなど吹き飛ばしてしまうこと請け合

「『表現する』とは
どういうことか？
—アール・ブリュットを手がかりに—」

講師：小澤基弘
埼玉大学教育学部教授
放送大学埼玉SC客員教授
9月30日(日)14:00~16:00
アール・ブリュットが何故、現代アートにおいて高く評価されているのか。その理由と意味、表現の在りようについて、本講演を通して考えてみたい。

「新発見の遺物からみた
中国文化史」

講師：大橋修一
埼玉大学名誉教授
川口短期大学教授
9月9日(日)14:00~16:00
世紀の大発見は、世界の古代文明の地でしばしば起きている。しかし、近年の中国ほど多くの驚嘆すべき出土物を発見する処は、多くはない。新しく出土した【文字】から中国文化史を紐解きたい。

秋の公開講演会

兼題 「蓮」

田草取さざなみ引ける通し鴨
それぞれにそれぞれ揺るる蓮青葉
ドア押せばカウベルの鳴る冷し珈琲
札所なる山懐のはちすかな
綿菅の波上にうかぶ遠き山
空蟬の夕日入れたる眼かな
入れ墨のみみずく土偶早星
日盛りの清里風のテラスかな
目鼻なき白きマネキン花水
雨の中子の手に残る蓮の傘

見学歓迎 第2木曜日午後1時より

順 由美 明美 十詩 光娥 功 八重子 厚子 安代 とく江

秋の公開講演会

兼題 「蓮」

田草取さざなみ引ける通し鴨
それぞれにそれぞれ揺るる蓮青葉
ドア押せばカウベルの鳴る冷し珈琲
札所なる山懐のはちすかな
綿菅の波上にうかぶ遠き山
空蟬の夕日入れたる眼かな
入れ墨のみみずく土偶早星
日盛りの清里風のテラスかな
目鼻なき白きマネキン花水
雨の中子の手に残る蓮の傘

見学歓迎 第2木曜日午後1時より

順 由美 明美 十詩 光娥 功 八重子 厚子 安代 とく江

学生研修旅行

日程 9月26日(水)

研修先 箱根
(星の王子さまミュージアム、ポーラ美術館)
定員 40名
申込 8月22日(金)9時半~11時
10F窓口にて申込の受付を行い、定員を超えた場合は抽選を行います。
定員を満たさなかった場合は、8月26日(日)まで先着順で、定員を満たすまで申込を受け付けます。

第2学期学生募集

平成30年度第2学期の学生を募集しています。
出願締切り(大学本部必着)は、第1回が8月31日(金)、第2回が9月

サークル案内

サークル
おおみや

9月15日~16日
「埼玉フェスタ」に参加
10月11日(木)
「高尾山ハイキング」
JR大宮駅中央改札口
花屋前に集合
*雨天順延17日(水)

8月~9月のサロン

8月31日(金) 13時~17時
サロンしぶや「映画とクラシック第4回」
映画『天井桟敷の人々』
講師 渋谷治美
(埼玉学習センター所長)
場所 8F・第6講義室
*9月2日(日) 14時半~17時半
テイタイム科学座談会
講師 永澤 明
(埼玉学習センター)
場所 8F・第6講義室

朗読の会「いろは」

8月活動日 30・31日
9月6日、7日、13日
16日はフェスタで公演
タイトル「愛の手紙」
&「八十八歳の私より」
10月5日、19日、26日

同窓会

9月30日(日)
「埼玉同窓会研修旅行」
テーマ 上野再発見

編集後記

今年の夏の日本列島は、酷暑と水浸しの繰り返しだった。昨年の日記を見ると、8月8日に台風5号に関する記述があるが、今年は台風が大量生産のようだ。16日の段階で19号が発生している。猛暑の影響で体調を崩す人も続出している。秋の涼風が待たれる毎日だ。(冬)



藍染めのような朝顔・大塚絹子